

## 平成30年度第3回豊山町地域公共交通会議議事録（要旨）

1 開催日時 平成31年2月28日（木）14時00分～14時50分まで

2 開催場所 豊山町役場3階 会議室3・4

### 3 出席者

#### （1）豊山町地域公共交通会議委員出席者

豊山町長	服部正樹
あおい交通株式会社代表取締役社長	松浦秀則
名鉄バス株式会社営業本部運行部運行課長	吉岡実
名古屋市交通局営業本部自動車部管理課主幹	加藤剛
	（代理 管理課 係長 宍甘裕樹）
豊山町老人クラブ連合会元地区役員	伊藤千歳
豊山町心身障害者福祉協会役員	河村君枝
中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官	杉本忠久
あおい交通株式会社運行課長	工藤彰郎
愛知県振興部交通対策課主幹	榊原仁
名古屋大学大学院環境学研究科附属持続的共発展教育研究センター教授	加藤博和
名古屋市住宅都市局都市計画部交通企画課長	伊藤禎浩
	（代理 交通企画課 主査 安田浩明）
名古屋タクシー協会専務理事	多田直紀
三菱重工業株式会社名古屋航空宇宙システム製作所名古屋総務グループ小牧南総務チーム総務担当課長	清水信也
小牧市都市建設部都市政策課長	永井浩仁
豊山町産業建設部長	佐藤正司

18名中15名出席

#### （2）豊山町地域公共交通会議委員欠席者

公益社団法人愛知県バス協会専務理事	小林裕之
愛知県尾張建設事務所維持管理課長	松本幸次
西枇杷島警察署交通課警部補	竹内美智夫

#### （3）事務局

豊山町理事	伊井誠
豊山町産業建設部地域振興課長	高桑悟
豊山町産業建設部地域振興課係長	菊地智行
豊山町産業建設部地域振興課主事	横山美佳

### 4 議題

#### 報告事項

（1）本町における地域公共交通の現況について

(2) 豊山町地域公共交通網形成計画の策定について

協議事項

(1) とよやまタウンバス北ルート試行運行の検証について

その他

5 会議資料

- 資料1 本町における地域公共交通の現況について
- 資料2-1 とよやまタウンバス北ルート試行運行後の状況について
- 資料2-2 名鉄バス西春・空港線 タウンバス北ルートの試行運行に伴う競合区間における月別利用者の前年度比較

6 議事内容

(開 会)

司会（課長）： 定刻より少し早いですが皆様お揃いですので、ただいまから平成30年度第3回豊山町地域公共交通会議を開催いたします。

それでは、本会議の会長でもあります、服部正樹町長からご挨拶申し上げます。

(町長あいさつ)

町 長： 本日は、大変お忙しい中、平成30年度第3回豊山町地域公共交通会議に御出席いただき、誠にありがとうございます。

日頃から、本町の公共交通施策をはじめ、行政各般にわたり、御理解や御支援をいただいております。この場をお借りして厚く感謝申し上げます。また、昨日の自動走行実証実験にご参加いただきました委員の皆さんには、重ねてお礼申し上げます。ありがとうございました。

さて、本日の議題としましては、報告事項2点と協議事項1点です。まず、報告事項として、「本町の地域公共交通の現況について」、「地域公共交通網形成計画の策定について」でございます。また、協議事項としましては、「とよやまタウンバス北ルート試行運行の検証について」でございます。

安全で利便性の高い地域公共交通ネットワークを形成するため、委員の皆様の活発な議論や意見交換が行われることをお願い申し上げ、私からのあいさつとさせていただきます。

以上、簡単ではございますが、私からのあいさつとさせていただきます。よろしくようお願い申し上げます。

(資料の確認)

司会（課長）： それでは本日の資料のご確認をお願いいたします。お手元の「次第」の裏面に一覧にしてあります。資料に不足などがありましたら、担当が資料をお持ちしますので挙手をお願いします。

（会議公開）

司会（課長）： また、本会議は設置要綱の第5条第5項に、会議は、原則として公開するとあります。会議の議事録などについて、本町のホームページ等で公開させていただきますので、ご承知おきくださるようお願いいたします。

（会議成立の確認）

司会（課長）： 本日は、愛知県バス協会の小林様、尾張建設事務所の松本様、西枇杷島警察署の竹内様におかれましては、ご欠席との連絡をいただいております。また、名古屋市交通局の加藤様の代理としまして宍甘様に、名古屋市住宅都市局の伊藤様の代理としまして安田様にご出席いただいておりますことをご報告申し上げます。

本日の会議は、委員の2分の1以上の方（権限の委任を受けた代理者を含む）に出席いただいておりますので、設置要綱第5条第2項の規定により会議は成立しています。

では、議題に入ります。設置要綱第5条第4項に会議の議長は、会長がこれにあたることとなりますので、以後の進行につきまして、会長よろしくをお願いいたします。

（報告事項）

会 長： それでは議事を進めさせていただきます。報告事項の「(1) 本町における地域公共交通の現況について」事務局から報告させます。

事務局（課長）： （資料1に基づき説明）

会 長： ただいまの報告について、バス事業者さんからも各路線の状況について、補足的に報告等ございましたらお願いしたいと思います。

A委員： 西春空港線につきましては、三菱様の影響も大きく、順調に推移している状況でございます。対して県営名古屋空港線は非常に苦戦しておりまして、なかなか2桁に達しないという状況でございます。南営業所の便で行きますと、時間1本が限界というところで、なかなか厳しい状況です。ただ、先般FDA様の運行ダイヤに準ずる形でダイヤを変更しております。そうした関係で夕方の利用が若干増えてきているかなという印象ですけれども、全体的な便数が設定できないので厳しい状況でございます。

会 長： 他にはよろしいでしょうか。

B委員： あいち航空ミュージアムができた時に、栄便をつくったんですけれども、あまり乗車がなく、1年経って半分の便数にしました。乗客が減っているわけですが、それは便数が半分になったためということです。

会 長： ありがとうございます。

C委員： 市バスのほうは改定はございませんけれども、黒川11号系統の北部市場行きというのがございまして、昨年と今年度上半期を比較しますと、全体として1桁%増加しているという状況です。ただ、北部市場というよりも全体として増えています。

会 長： ありがとうございます。では、委員の皆様から何かあればお願いします。

D委員： あおい交通さんの幸田・勝川線について6便から5便に減らしたものが一部あるそうですが、利用者数は前年同期に比べて約8.4%増ですので、減らしたのは時間帯の調整か何かですか。

B委員： 何かを意図してではなく、時間の組み合わせでということだと思います。

D委員： どこかの時間帯だけ乗る人が少ないから、効率的にしてみるかとかそんな感じですかね。

B委員： また確認しておきます。

会 長： 他の委員の方はよろしいですか。

E委員： 名鉄バスについて、西春空港線の話と県営名古屋空港線の話がありました。西春空港線の件につきましては、前回の会議でもあったように中新田のバス停が周辺事業者の通勤や通学に便利だということで利用が伸びているということであったと思います。県営名古屋空港線につきましては、若干苦戦されているということですが、月あたりの利用者を見てみますと、29年10月から3月の6か月間で36,913人を単純に6で割ると6,152人、それが30年度に入ってからでは月で6,980人となり若干伸びているような感じですが、1便あたりとなるとそんなところなので、見せ方というか皆さん乗っていただければ快適さがわかると思いますので、何かの機会に乗っていただければと思います。

副会長：名鉄バスの県営名古屋空港線というのは名鉄バスセンターから順番に停まって栄に行き、そこから空港へ向かうわけですが、どこが一番多いですか。

A委員：栄です。

副会長：やはり名鉄バスセンターだと時間がかかる…。

A委員：そうですね。名鉄バスセンターよりも栄の需要のほうが多いです。

副会長：あおいのバスだと時間が等間隔ではないですが、名鉄バスはある程度揃っているの使いやすいというのはあるかもしれません。あと、手前の停留所はどうですか。

A委員：若干あるんですが、決して多くはないですね。

会長：ありがとうございます。よろしければ次に行きますがいかがですか。

では次に、報告事項「(2) 豊山町地域公共交通網形成計画の策定について」事務局から報告させます。

事務局(課長)：豊山町地域公共交通網形成計画につきましては平成27年3月に策定しまして、平成30年3月に中間見直しをしたという経緯でございます。計画期間は平成31年度末までとなっております。来年度1年をかけまして32年度以降の計画を策定してまいりたいと考えておりますので、来年度皆様方にはこの会議の場でご議論いただくということで、あらかじめご報告させていただきます。

会長：ただいまの報告について、委員の皆様からご意見はございますでしょうか。

E委員：是非早いうちに見直しに向けてのスケジュールを作っていただいた方が良いでしょう。そしてそれに基づいてどういったことをやっていくのか、それを目指して最終的には改訂するという事ですので、スケジュール感を示していただいて取り組んでいただきたい。同時に評価も必要となりますので、最終年度の評価もやっていただければと思います。

事務局(課長)：ご意見ありがとうございました。早急にスケジュールを組み立てまして、会議にお示しさせていただきたいと思っております。

会長：ありがとうございました。他の方はよろしいでしょうか。

ないようですので、次に協議事項「(1) とよやまタウンバス北ルート試行運行の検証について」事務局から説明させます。

事務局（課長）： （資料２－１、２－２に基づき説明）

会 長： ただいまの説明について、名鉄バスさんから、補足等ございましたらお願いしたいと思います。

A委員： 集計結果から前年より増加傾向でございます。これも三菱関係の利用が非常に多くなったため、大きな利用者増となっています。また改めて競合区間におきましても利用者は少なからず伸びている状況です。ただ、全体の数字が大きくなっているということでございますので、その陰には少なからず競合の影響というのは残っているのではないかと推測しております。競合する区間ですが、補足させていただくと、伊勢山西や西豊場の利用につきましては大きく減少しています。プラスアルファ空港西というバス停があるんですけれども、大きく減少しているというところでございます。そういった関係があって大きな影響はみられていないというのが現状です。

会 長： ありがとうございます。では、ただいま説明がありました件につきまして、委員の皆様からのご意見ご質問を受けたいと思います。

B委員： 今回はエアポートウォークにとよやまタウンバスを乗り入れたということで、若干名鉄さんと競合路線があるということなんですけれども、この数字を見るところではエアポートウォークで30人か40人の利用となっておりますので、乗り入れて良かったと思います。これは上手いこといったんじゃないかと思えますし、三菱さんの影響も大きいですが、名鉄さんのほうも伸びているということですし、この企画は全体的に言ったら皆win-winでよかったんじゃないかと思えます。

A委員： 資料２－１から、青山地区はご要望どおり伸びている印象がございます。ただ、先ほど申し上げたとおり、伊勢山西や西豊場のお客様は減少傾向です。北部市場東においては非常に多い点だという印象ですが、実際に交通局様との乗り継ぎであるとか他の要因によって増えているのでしょうか。

B委員： 北部市場のほうが結構増えているというのは、とよやまタウンバスが北部市場から乗ると安く乗れるというということがわかると北部市場まで行って乗ることになりますから、時が経つほどここから乗る人が増えるんじゃないかなと思います。

副会長： もし、栄・黒川方面だったら、北ルートで乗り継ごうとしたら北部市場東で乗り継ぐ方が安くなります。そういう人がどれくらいいるのかはちょっとわかりませんが、北部市場東は特に豊山方面行きは待ってられないところなので、ちょっとどうなのかな。名古屋方面は良いんですが。あの停留所の改善も重要な課題だと思うんですが。今回北が伸びた理由というのはよくわかっていないとこ

ろなんですよ。

F委員： もともと小牧市役所前から北部市場まで乗られている方が潜在的におみえになりまして、それプラス増加した理由というのは現在調査しておりませんが、エアポートウォークからの乗り継ぎも含めて多少北部市場東をご利用になる方がタウンバスの便利さに気づいて、増えてきているということは想像できます。

副会長： 以前は直通だったので、分けてからはそれほど…。

F委員： タウンバス以外に、名古屋市営バスも接続しておりますので、そういった方もあるのかなと思います。

C委員： 黒川11系統北部市場行きというのがございますけれども、北部市場で降りられる方だけを見るとほぼ横ばいです。こちらは延べ数で出ていますので一概には申し上げられないですけど、顕著な結果とは言えないと思います。ただ、若干増えているような印象です。

G委員： タウンバスは以前は町内だけの利用者が少なかったのですが、エアポートウォークへの乗り入れをしてから、乗務員に話を聞くとエアポートウォークに行きたいという人はいるし、町内の利用者は増えてきています。そういったこともあって、北部市場からの乗車が増えてきているのかなと思います。

副会長： 青山地区から来ることを期待していたのですが、むしろ北部市場東から来る人が増えたということなので、青山地区は需要喚起をやっていく必要があるのかなと思います。青山地区で増えているのはむしろ小牧方面であり、町内方面では増加が見られませんので。停留所に行先を書いて宣伝していただくのをやっています。網形成計画の見直しに向けて、今こういう風に使えるということをお客様にわかっていただく取組が必要なのかなと思います。あと、エアポートウォーク自体は1日に2人か3人の利用なので、10倍とまではいかないですが数倍は使っていただくと良いと思います。できれば1便1人ずつぐらい乗るようになると非常に良いです。わざわざ寄っているのに誰も乗り降りしないというのは、今までずっと乗ってこられた方にとっては迷惑だなと、何でこんな乗りもしない所に停まるのかというふうになりますので、大半の時には乗り降りするというふうになると良いなと思います。

E委員： 空港西も名鉄バスの競合ということで、空港西は2回寄る形になっていますが、利用者はあまり多くないので、逆にここを競合させる必要性があるのかということも検討していく必要があるのかなと思います。

A委員： 空港西なんですが、経路が名鉄バスと重複しているというところが問題だと認

識しております。そういった関係で経路の見直しをしていただけないか。例えば、空港の南口の経路を使って新たなバス停を設置するような方向性で競合を避け、新たな需要を創出するということを是非やってほしいと思います。

会 長： 他の方はよろしいでしょうか。では、タウンバス北ルート of 試行運行の検証については、9月末までの半年間の試行運行の延長としたいと思います。貴重なご意見をいただきましたので、検討・調査を行うということで、豊山町公共交通会議として、合意いただいたものとして取り扱って、よろしいでしょうか。

F委員： 補足で少しお話しさせていただきます。今、会長が9月末まで半年間延長というふうに申し上げたのですが、どうしてかという理由としましては、今エアポートウォークと春日井稲沢線を結ぶ町道の新設工事をしておりまして、供用開始を7月頃を目指しています。それが開通しますと春日井方面へ帰られるエアポートウォークの利用者が非常にスムーズに出られるということが想像できますので、そういった状況を見ながら検討させていただきたいということで9月末までということをご提案させていただきたいと思います。

会 長： ありがとうございます。では、このまま試行運行をさせていただくということでよろしく願いいたします。

では、その他に入ります。委員の皆様から何かございますでしょうか。

(その他)

G委員： とよやまタウンバス北ルート南ルートとも、車両が購入してから10年以上経っておりまして、故障がちょこちょこ生じておりまして予備車両で運行させていただくことがあります。車が限界を迎える前にそろそろ新車を導入したいと思いますのでよろしくお願いいたします。

F委員： その件につきましては、議員の方からも町民の皆様からもそろそろどうだというお話をいただいております。また相談させていただきたいと思います。

会 長： 10何年使っていますか。

G委員： 12、3年くらいですね。100万キロ近いところまでいっています。

会 長： 耐用年数というのはどうですか。

B委員： 10年ぐらいで70万キロぐらいです。車両によりますけれども。大型バスであれば100万キロいってしまいますので、マイクロバスだったらもう少し少ないです。使おうと思えば15年ぐらい使えるかもしれませんが、10年ぐらいを



目安にと思っております。

会 長： 自動走行の実験もやらせていただいたので、それも踏まえて考えられたら良いなと思います。

副会長： 南ルートは地域間幹線ですから、減価償却補助もありますよね。

E委員： 公有民営補助ですか。そういった補助も使えますので、担当にご相談いただければと思います。

副会長： 豊山町で買ってあおい交通さんに貸し出すという形でも豊山町に補助が出ます。

B委員： 現状はうちで買って相当分をいただいています。

F委員： ではそういったお話で調整させていただきますのでお願いいたします。

B委員： ハイエースも古いんですけどね。ただ、道路が狭いのでそれ以上大きい車は走れないですよね。一つ問題なのがハイエースか日産のキャラバンが車いす対応ができなくなったので、公共交通会議でそういう車両を使うということを了承していただければ良いんですけども。基本的にはバリアフリー車両を使いたいんですけどね。その辺は細かく検討していかなければならないと思います。

会 長： 他の委員の方はよろしいですか。

B委員： 5月1日に小牧市民病院がオープンしますが、整備はもう1年かかりますよね。

H委員： 病院がオープンするのは今年の5月1日です。旧の病院を解体して、この場所に新しい交通ロータリーを作りますので、完成予定が平成32年8月頃になる予定です。

副会長： そこはタウンバスは入れそうですか。

H委員： ロータリーには、名鉄バス、小牧巡回バス、とよやまタウンバスにも入っていただける予定です。

B委員： 白ナンバーは入れないんですよね。

H委員： いわゆる白ナンバーは別にロータリーを作りますので、公共専用と一般車のロータリーと2つできます。

会 長： 他の方はよろしいですか。それでは、事務局から何かあればお願いします。

事務局（課長）： バス事業者様へお願いでございます。本日公共交通マップを配布させていただいておりますが、4月に向けてダイヤの改正を予定されていると思えます。新たなマップを作成するにあたりまして、ダイヤのデータをご提供いただきますようよろしくお願いいたします。

会 長： 以上を持ちまして、本日の議事を終わらせていただきます。委員の皆様のご協力にお礼を申し上げます。どうもありがとうございました。それでは、事務局にお返しします。

(閉会)

事務局（課長）： ありがとうございました。

以上をもちまして、平成30年度第3回豊山町地域公共交通会議を閉会いたします。ご協力、ありがとうございました。